



相模鉄道キャラクター

そうにゃん

お客様からのお問い合わせやご意見・ご要望は、
「相鉄お客様センター」でお伺いしています。

TEL.045-319-2111

平日／9:00～19:00 土日祝／9:00～17:00

FAX.045-319-2191

<http://www.sotetsu.co.jp/contact/>

相鉄 お問い合わせフォーム

発行:相模鉄道株式会社 安全推進部
発行日:2018年6月

あんぜん
あんしん
のために
2018



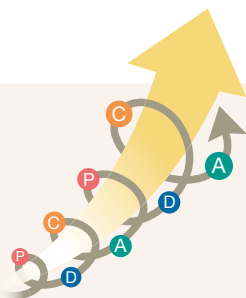
そうてつを
安全に安心してご利用いただくために
私たちが日々取り組んでいることを
ご報告いたします。

 ときめきとやすらぎをつなぐ
SOTETSU

相模鉄道株式会社

1 基本方針と安全管理体制

具体的な指針の見直しを毎年行っています。



継続的改善活動 【スパイラルアップ】

相模鉄道では、PDCAサイクルの推進による安全管理体制の向上に努めています。

PLAN 方針・計画

安全方針

- ① 私たちは、すべてにおいて安全を最優先します
- ② 私たちは、法令を遵守し、執務を厳正に行います
- ③ 私たちは、常に安全の維持・向上に努めます
- ④ 私たちは、輸送の安全を通じて社会に貢献します

安全重点施策

- ① リスク情報の共有と安全対策確立による事故防止
- ② 確実なスキルの継承

ACT 改善

年度末には、安全に関する1年間の取り組みを振り返り、来年度の計画へとつなげています。



マネジメントレビュー
(安全推進委員会)で
1年間の取り組みを
振り返っています。

DO 実行

計画に基づいた様々な取り組みを実施し、安全管理体制の維持・向上を図っています。

夏季安全輸送推進運動

年末年始輸送安全総点検運動
国土交通省関東運輸局からの
通達に基づき、毎年夏に「夏季
安全輸送推進運動」、年末年
始に「年末年始輸送安全総点
検運動」を実施しています。

安全統括管理者による講話

夏季安全輸送推進運動期間
中には、安全統括管理者に
よる講話を開催しています。



職場巡視

社長・安全統括管理者など経
営管理層が自ら巡視を行い、
現場の確認を行っています。



部長懇談会

安全に関する要望や意見が社
員から直接部長に伝えられ、
安全対策に反映されています。



PDCA サイクル

継続的に改善していく
動きのことです。

CHECK 点検・評価

安全管理体制の機能の確認や、
各種取り組みを点検・評価します。



インタビュー形式で社内の安全監査を実施しています。



2 鉄道運転事故等の発生状況

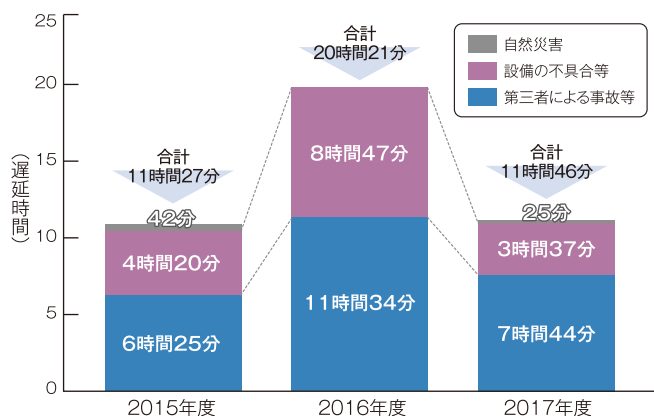
2017年度は合計8件の鉄道運転事故等が発生しました。
このうち6件が第三者による原因のものでした。



鉄道運転事故	列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故の7つをいいます。
インシデント	鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。
輸送障害	列車の遅延または運休により、最大の待ち時間が30分以上となった事態であって、鉄道運転事故以外のものをいいます。

遅延時間

最大遅延時間の合計は11時間46分でした。原因別では、第三者原因による遅延が7時間44分、設備の不具合等による遅延が3時間37分、台風、降雪等の自然災害による遅延が25分でした。



2017年度に発生した鉄道運転事故等のうち、以下の事象について概要をお知らせします。

鉄道人身障害事故	
発生日時	2017年10月23日(月) 5時28分頃
事象種別	鉄道人身障害事故
場 所	相模鉄道いずみ野線 二俣川駅付近
概 要	湘南台駅発各駅停車横浜行き列車の横浜駅寄り2両目から発煙を確認し、ほぼ同時刻に全線にわたる停電が発生しました。この影響により全線で運転を見合わせ、同列車に乗車中のお客さまを二俣川駅まで誘導しました。7時20分頃より海老名駅～瀬谷駅間で折り返し運転を実施し、8時30分頃より全線で運転を再開しました。 この発煙により3名のお客さまが病院に搬送され手当てを受けられました。
原 因	車両の集電装置(パンタグラフ)付近で発生した放電により、屋根上に大きな損傷が生じて発煙したものと。
影 響	●最大遅延 3時間37分 ●運休本数 149本 ●遅延本数 120本 ●影響人員 77,600人
対 策	●集電装置の緊急点検を行い、劣化が見られた該当する電線の応急処置を行いました。 ●該当する電線および集電装置付近の絶縁材の状況について点検を強化し、必要に応じて交換・補修を実施し、定期的に交換します。

3 安全に関する設備投資

安全で快適にご利用いただけるよう様々な設備投資を実施しています。その一部をご紹介します。

実績 2017年度

45 億円

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅) 連続立体交差事業

2016年度に下り線の高架化を実施し、2017年度は上り線の高架化に向けた工事をを行いました。



※本事業は横浜市の都市計画事業です。

車両代替(20000系車両新造)

急曲線等での安全性を向上させた台車の装着や、車両情報を司る装置の安全性やメンテナンス性を向上させた20000系車両10両を新造しました。



分岐器(ポイント)改良工事

交換周期に達した既存の分岐器をレール継ぎ目が少ない弾性分岐器に交換し、列車通過時の騒音・振動の低減を図りました。



いずみ野駅構内

計画 2018年度

26 億円

相模鉄道本線(星川駅～天王町駅) 連続立体交差事業

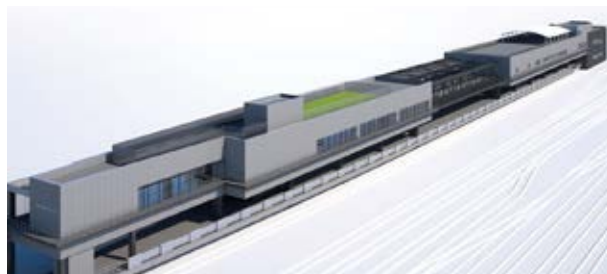
星川駅～天王町駅間の踏切による交通渋滞の緩和等を図るために、星川駅と天王町駅を含めた約1.8kmを高架化し、9箇所の踏切を除却します(2002年度に着手)。今年度予定している上り線の高架化に向けて引き続き工事を進めます。



※本事業は横浜市の都市計画事業です。

海老名駅総合改善事業

鉄道駅総合改善事業(形成計画事業)として、北口および南口2階に改札口を増設し、駅舎の建て替えを行います。また、ホームドアを新設します。



駅舎全体イメージ図(西口側から)

※イメージ図は、現時点での完成イメージであり、変更となる可能性があります。

変電所設備の更新

各変電所の主要設備を更新し、電車・施設への電力送電の保安度向上を図ります。

4 安全への取り組み

不測の事態にも迅速に対応できるよう
ソフトとハードの両面で対策を講じています。

SOFT 「事故の芽・種」活動の推進

事故に至る前の状態の「事故の芽・種」を収集し、その情報を職場内や社内全体に展開するとともに対策を講じることで、事故や災害を未然に防止する、「事故の芽・種」活動を全社で推進しています。

「事故の芽・種」情報の例



SOFT 研究発表

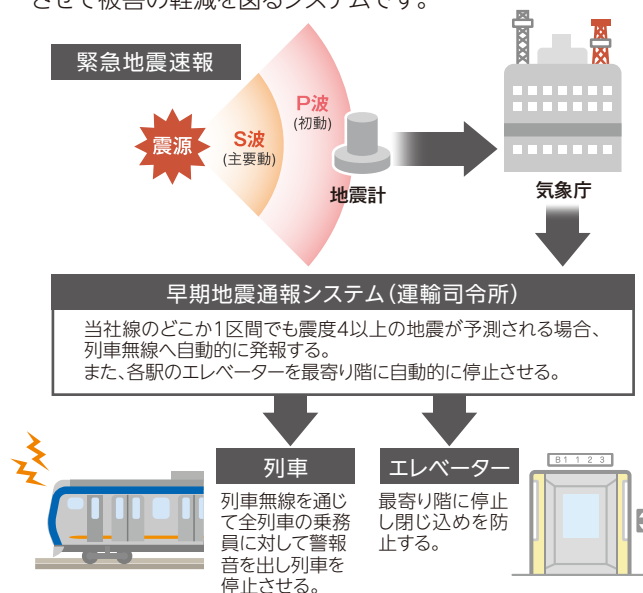
社員が安全に関する研究発表を行い、その内容を社内で開催しています。



研究発表の様子

HARD 早期地震通報システム

気象庁が発信する「緊急地震速報」を受信し、相鉄線沿線で震度4以上の揺れが予測される場合に、列車無線を通じて全列車の乗務員に対して警報音を出し、走行中の列車を停止させて被害の軽減を図るシステムです。



HARD ホームドアの設置

ホーム上における安全対策の強化を図るため、横浜駅の乗・降車ホームにホームドアを設置し、2022年度末までに全駅にホームドアを設置します。



横浜駅に設置したホームドア

HARD CPラインの設置

ホーム上における更なる安全性向上のため、視覚に障がいをお持ちの方の意見を参考に、二俣川駅・大和駅・海老名駅・緑園都市駅にCPラインを設置しました。



二俣川駅に設置したCPライン

※CPライン…
「Color Psychology (色彩心理)」といい、お客さまに視覚的・心理的にホーム端部の危険性を訴え、ホーム内側への歩行を促しホームからの転落および列車との接触事故を防止することを目的としています。

5 安全に関する教育訓練

定期的な訓練と教育で、知識と技術のスパイラルアップを図っています。

教育

安全講演会

安全意識を醸成するために外部講師を招いて安全講演会を開催しています。この講演会により、鉄道会社の社員としての使命や職責の重要性を確認しています。



安全講演会の様子

人材の育成

鉄道輸送の安全確保とサービス向上を図るため、階層別・職種別に必要な知識および技能の習得を計画的に行っています。



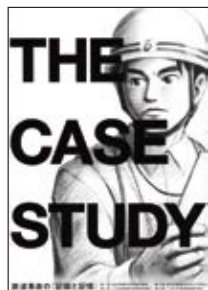
運転士用シミュレーター

安全教育教材

過去に発生した事故をもとに教材を作成し、安全教育に活用しています。



瀬谷駅列車衝突事故ジオラマ



漫画形式教材



教育

安全意識の向上

訓練

訓練

津波対応訓練

当社では横浜駅～天王町駅間を津波警戒区間に指定しています。西横浜駅構内において、東京湾に大津波警報が発表されたという想定で、列車からの避難誘導訓練を行いました。



津波対応訓練の様子

トンネル内火災避難誘導訓練

トンネル内で火災が発生したとの想定で、深夜にゆめが丘駅～湘南台駅間において、列車からの避難誘導訓練を行いました。



トンネル内火災避難誘導訓練の様子

異常時総合訓練

毎年、大和市消防本部等との合同訓練を実施しています。2017年度は踏切での乗用車との衝突事故を想定した訓練を行いました。



異常時総合訓練の様子



6 お客様への情報提供

列車の運行情報等をリアルタイムで提供しています。

遅延証明書はホームページや携帯電話から入手できます。



携帯電話の遅延証明書



ホームページの遅延証明書

遅延証明書は過去7日分まで発行しています。

1 車内表示器

11000系と20000系では、ドア上に設置した液晶画面で運行情報を提供しています。運行情報の更新時にはメロディ音でお知らせしています。



2 運行情報ディスプレイ

相鉄線全駅の改札口付近に設置し、運行状況や沿線情報をお知らせしています。

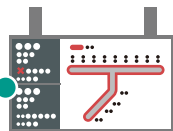


電車で

1 車内表示器

改札口で

2 運行情報ディスプレイ



3 相鉄ホームページ

ホームページでは、

- 運行情報
 - 相鉄線全駅の時刻表
 - 時刻検索
 - 運賃検索
 - 路線図
 - 車両図鑑
- などを掲載しています。



<http://www.sotetsu.co.jp/train/>

4 相鉄モバイル

携帯ホームページ

「相鉄モバイル」では、

- 運行情報
- 相鉄線全駅の時刻表
- 相鉄線全駅の終電時刻表
- 運賃検索
- 路線図

などを掲載しています。

<http://www.sotetsu.mobi/>



5 Twitter(ツイッター)

当社では、Twitter(ツイッター)による運行情報配信サービスを行っています。アカウント@[sotetsu_pr](#)をフォローしてください。



屋外で

3 相鉄ホームページ

4 相鉄モバイル

5 Twitter(ツイッター)

職場・ご家庭で

3 相鉄ホームページ

5 Twitter(ツイッター)



7 お客様へのお知らせとお願い

安全にご利用いただくため、ご協力をお願いします。

踏切でのお願い



踏切警報機が鳴り始めた後の無理な横断は、踏切事故の原因となり大変危険です。おやめください。



踏切内で異常があった時は、非常ボタンを押してください。ベビーカー、シニアカー、車いす等が踏切内で立ち往生した場合は、発見した方がすぐに非常ボタンを押してください。

列車内でのお願い



ドアが開く際は、手やお荷物をドアから離すようお願いいたします。指や手が戸袋へ巻き込まれ、思わぬケガの原因となります。

列車妨害行為禁止のお願い



線路上にものを置いたり、列車にものを投げたり、落書きなどのいたずらをすることは犯罪です。絶対に行わないでください。

緊急時にはこのボタンを押して下さい！



※絶対に線路へ降りないよう
お願いいたします

ホーム上でのお願い



駆け込み乗車は大変危険です。思わぬケガの原因となりますので無理をなさらず次の電車をご利用ください。



駅のホームには『傾き』があります。ベビーカーや車いすは、しっかりとブレーキをかけてください。

※ホームでお待ちの際は、向きを線路と平行にし、ブレーキをかけてお待ちください。



歩きながらの携帯電話・スマートフォン・その他電子機器等の操作はおやめください。他のお客さまとぶつかったり、ホームからの転落の原因となり、大変危険です。



思いやりの声かけが誰かのサポートになります。どなたにも安心してご利用いただけるよう、お手伝いの必要な方がいらっしゃいましたら、『声かけ・サポート』をお願いいたします。

夜間作業へのご協力について



深夜時間帯には、線路や架線の交換、信号機やトンネルの点検等の作業を行っています。これらの作業は安全な運行を確保するためには必要不可欠なもので、列車が運行している間には実施できないものです。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。